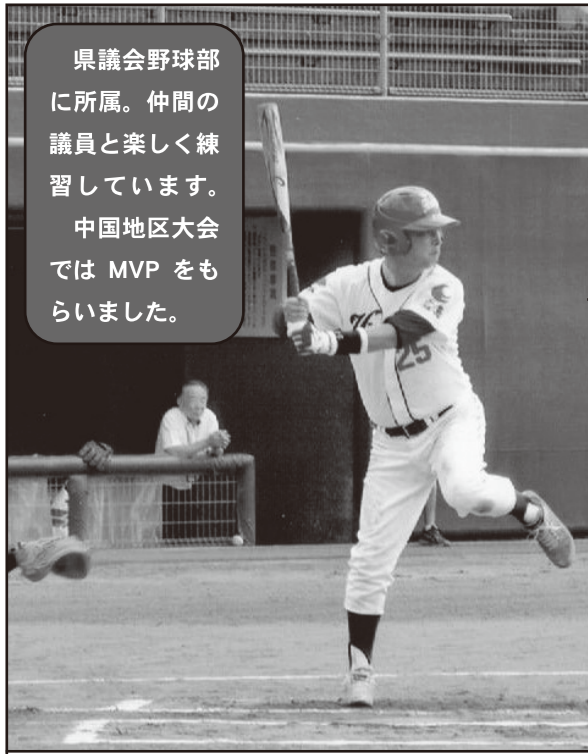


県議会野球部に所属。仲間の議員と楽しく練習しています。中国地区大会では MVP をもらいました。



ガリ版報告書

第 8 号 平成30年3月

広島県議会議員 自由民主党

み よし りょう じ
三 好 良 治
みんなのすきな よい せいじ!

**早いもので、2 期目最後の 1 年となりました。
着実に、丁寧に、努力をし続けます！**

早いもので、初当選から丸 7 年がたち、2 期目最後の 1 年となりました。ここまでお支えいただきました多くの皆様に、心より感謝いたします。

これまで、文教委員長、産業競争力強化対策特別委員長をはじめ色々な仕事を経験させていただき、現在は社会保障制度調査会の会長として「医療・介護制度」、「障害のある方々に関する施策」・「働き方改革」などに取り組んでいます。社会保険労務士としての経験も活かし、少しでもお役に立てるよう頑張っていきます。

また自民党においては、引き続き青年局長を務めさせていただいており、「若さ」と「行動力」で、仲間とともに元気に活動して行きたいと思っています。1 年を切り、正直、あせる気持ちもありますが、こうした時だからこそ、「できていなかった事はないか」、「できた所は今どうなっているか」と、自問しながら丁寧に努力を重ねて行く、そんな 1 年にしたいと思っています。

引き続きのご指導、宜しく願いいたします。



～・我が家のネコたちと～

「動物を愛する議員の会」に所属し活動しています。世論が動き、この度、広島県の犬猫殺処分が 0！になりました。我が家にも 2 匹の保護猫がいますが、優しい可愛い子たちで、いつも癒されています。

**自民議連 社会保障制度調査会 会長として
より良い広島県の社会保障制度を創るため、提言し続けます！**

少子高齢社会の中で、持続可能で、優しく、きめ細やかな社会保障制度をどう構築していくのか、県に課せられた新たな制度づくりは、大変重要な課題です。取り扱う範囲は大変多岐にわたりますが、一つ一つ丁寧な仕事をしていきたいと思っています。

特に、いよいよこの 4 月からは国民健康保険の運営が県に単位化され、新たな制度がスタートします。これまで各市町で独自の運営が可能となっていた当制度を今後は県が一元的に管轄し、医療の給付と負担の平準化を図って行くこととなります。私たちの住む福山市は、これまで大変堅実な運営が図られてきていますが、他の市町においては、実状にそぐわない給付や、一般財源からの法定外組み入れと言った手法での保険料引き下げサービスが残っているのも実情です。

激変緩和措置期間である今後 6 年間の中で、こうした部分にしっかりとメスを入れ、福山市のような堅実な取り組みをしている市町が不公平感を抱かないようにすることが大切だと思っています。福山市をモデルとして、健康診査の受診率や保険料の納付率も考慮した実効性のある計画策定を推し進め、真に公平で質の高い医療・介護体制の構築を実現できるよう、引き続き提言を行っていきます。また、障害者差別解消法の施行を受け、多くの障害者また関連団体から、手話言語条例の制定など、様々なご要望や陳情もいただきますが、その都度、実状を聞かせもらい、時には意見の反する関係団体の方々との間に立って、その調整を図るといった仕事も多くなってきました。その上で、調査会を開催し、意見集約を図るとというのが今の私の仕事です。

過去の経緯や、表だけでは分からない感情のもつれなど、色々な部分に配慮することが必要だと、改めて勉強するとともに、責任の重要性を強く感じています。



**自民党広島県連 青年局長として
仲間とともに、若さと行動力で前進し続けます！**

自民党広島県連の青年局長として 2 年目を迎えます。これまで、「憲法改正」、「主権者教育」、「拉致問題」をテーマに街頭演説会の開催、また税制調査会長の宮沢洋一先生、政調会長の岸田文雄先生をお招きしての意見交換会、小林史明代議士と連携をとり全国からの青年局有志を招いての研修会の開催など、勉強をし、意見を発する場を積極的につくって来ました。

昨年の全国青年局長会議では、自民党の二階幹事長に対して、直接、私の教育に関する思いを発言させて頂きました。次の世代を担う各地の若きリーダーと、しっかりと人間関係をつくり、今後とも全力で活動を続けて行きます。



2月議会での質問内容 私のこだわり

詳細はYouTubeもしくは私のホームページに動画をアップしていますので、よろしければご覧ください(答弁付)



みなさんの声を、ねじ曲げずに県政に届けます！

とにかく皆さんの声を「ねじ曲げる」ことなく、まっすぐ伝えることが私のこだわりです。それが「身近に感じることのできる政治」に繋がるものと信じています。

今回の質問も、地域の皆さんや、身近な企業・団体の方々からいただいたご不満やご意見をまっすぐに伝えました！

●広島から始める世界平和の新たな道筋について

北朝鮮の脅威が高まるなか、「核兵器のない世界をつくる」との理念のもと立ち上げた「広島平和拠点構想」の真価が問われている。今のままでは県民の理解は得ることはできない。会議の開催ばかりでなく、次のステップとして、広島ならではの核廃絶プロセスを構築すべきであり、例えば「核無力化研究」といった分野で周辺アジア諸国と連携をとり、非核保有国が結集し得る柱を打ち立てるべきである。

●県庁舎の将来的なあり方について

★耐震化経費の増加に対する県民への説明責任★

平成24年当時、約30億円と試算した県庁舎耐震化経費が、この度58億年と約倍増され予算要求されている。当時は震災復興、アベノミクス効果で既に人件費や材料費は高騰し始めており、民間企業はまさに死に物狂いで乗り切ってきたことを思えば、県の対応には納得できない。何故その都度情報発信をし、今後の進め方の是非も含め検討してこなかったのか。これまで行って来た説明責任を果たすべきである。

★県庁舎建替えに向けた議論の再開と整備基金の扱い★

現在の県庁舎を高層利用し、一部土地を民間売却するなどすれば、経費を抑えた建て替えも可能であり、こうしたメニューを示した上で耐震化も判断すべきである。こうした取り組みを早急に進めていただきたい。

●国保県単位化について

★一般会計からの法定外繰り入れ問題について★

4月から始まる国保県単位化に向けて、現在県内のいくつかの市町で行われている法定外繰り入れは税の公平性の観点からも問題であり、こうした状況を放置していれば、いずれ保険料全体に跳ね返ってくることになる。適正化に向けた実効性ある計画の策定と実施を強く求める。

★乳幼児等の医療費の公的助成の問題について★

本来は、国において一律に制度化されるべきであるが、各市町が独自のサービスとして温存されているのが現状である。結果として医療全体を押し上げることとなるため、サービスの有無によって各市町の不公平感は強く残る。県は医療給付の平準化に向け厳しい態度で臨み、各市町の批判の受け皿となるべく凛と立つべきであると考えているが、どのように取り組むのか。

各地での県政報告会も開催しています。



県政の現状をお伝えし、色々なご意見や、地域の課題を聞かせていただき、大変ありがたい場です。逆に、呼びいただければ、都合のつく限り必ず行かせていただきますので、お気軽にお呼びいただければありがたいです。

ラジオ番組やってます！！

「おはようときめきタイム
ひろちゃんとりょうちゃんの心の旅」

第1・3木曜日
午前9:18頃～9:28頃
FMふくやま

毎週、なぞのオッサンこと、ひろちゃんと、りょうちゃんが、本音でトークします。



●公共施設の維持管理について

傾斜地や道路の草刈りや木の伐採、河川内の清掃などの維持管理予算の一層の確保を強く要望する。またその際、業者への発注について、3年間～5年間という長い期間での契約を可能とすることで、業者も仕事の見通しをつけ易くなりコストダウンにつながるのと同時に、住民も業者と連携を取りながら日頃の維持管理ができるものとする。こうした仕組みを是非取り入れるべきではないか。

●別所砂留遺産の活用と今後の整備について

地元元田町にある別所砂留遺跡は大変貴重な土木遺産であるが、地元ボランティアの方々も高齢化を迎え維持管理が厳しくなっている。県の支援を強く要望する。

●県の進めようとする働き方改革について

- ・一過性に終わらないための進め方の認識について
- ・改革を進めたくても進めることのできない中規模・小規模企業のやる気を損なわない支援の在り方について
- ・優良企業を認定する際の県独自の労務監査の必要性について
- ・広島県社労士会との連携協定に関して何を推し進めようと考えているのか

●公教育が果たすべき役割について

政府は私立高校の授業料実質無料化を閣議決定したが、このことは、我が国の教育にとって大変大きな変換点になるものとする。公立と私立のどちらに通うか決める際に、経済的な制約がなくなり、より自由な選択が可能となるため、場合によっては、公立と私立との間で生徒の奪い合いも起こりかねない。今こそ、公教育の中で公立学校の果たすべき役割を明確化し、私学との連携をより強化できる仕組みをつくることで、効率的で質の高い教育の実現を図らなければならない。

県教育全体を牽引する役割、特別な配慮を要する子供たちの学習環境を整える役割、中山間地や島諸部の教育機会を保障する役割は公立学校がより重点的に担い、街中に位置し、特別な配慮を必要としない子供たちへの教育の提供は、むしろ効率的な運営が確立している私学へ委ねるべきであり、同じ場所に公立と私立が競合する場合などは、大胆な入学定員比率の見直しを進めるべきであるとする。前例に縛られることなく、大胆な改革に着手すべきことを強く要望する。

いつも沢山のイベントや集会に お招きいただき感謝します！！

プロフィール

昭和47年生まれ 45歳
出身 福山市駅家町中島
現住所 福山市南松永町
平成9年 愛媛大学法文学部 法学科卒業
平成9年 元内閣総理大臣 宮沢喜一秘書
平成12年 衆議院議員 宮沢洋一秘書
平成23年 広島県議会議員初当選
平成27年 2期目当選

現在までの主な経歴

文教委員会 委員長
産業競争力強化特別委員会 委員長
総務委員会 副委員長
自民党広島県連 青年局長
自民議連 社会保障調査会 会長
三好良治社会保険労務士事務所 代表
広島県社会保険労務士会 顧問

お問い合わせ先

〒729-0104 福山市松永町4-3-6
電話 084-933-0580
Fax 084-933-4075
メール miyoshi-info@fujimori-pro.gr.jp

